

令和7年度 特例の教育課程の実施状況報告

1. 学校・市町村概要

名護市立 大北小学校

・教育目標: すすんで学ぶ子 心のやさしい子 ねばり強い子 体のじょうぶな子

・所在地: ●沖縄県名護市4丁目19番37号

・児童数

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	67	74	91	90	91	79	36	528						528
学級数	2	3	3	3	3	3	6	23						23

○名護市概要【人口】65,215人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語発音をまねし、進んで発話する。

3. 取組の工夫:教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成・

令和7年度は、1年生で10回、2年生で18回の外国語活動を行いました。ドリー先生にご指導をいただき、学年の実態にあわせて「よんなーよんなープログラム」を活動しながら、児童が英語が楽しく習得できる工夫をしました。

- ・第5学年においては、Unit7・8を社会科「日本の国土と私たちの暮らし」と関連付けた指導を実施した。
- ・第6学年においては、Unit3を社会科公民的分野「税金の使い道及び公共物」と関連付けて指導を行った。
- ・また、第6学年Unit7・8については、キャリア教育との系統性を踏まえた指導を行った。

4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

〈成果〉

- ・児童のリスニング能力の向上が見られた。
- ・ALTとの日常的な英語による関わりが増加した。
- ・英語で手紙を書く活動や、卒業式における英語スピーチの実施など、実践的な言語活動の充実が図られた。

〈課題〉

- ・英語による文章表現の指導時間の確保が不十分である。
- ・担任の指導力向上に向けた教材研究の時間確保が困難である。
- ・ALTとの事前打合せ時間の確保に課題がある。

〈今後の取組〉

- ・言語活動の充実に向け、文章表現の指導時間を計画的に確保する。
- ・校内研修や教材の共有を通して、指導力の向上を図る。
- ・ALTとの連携強化のため、打合せ時間の計画的な確保に努める。